



The Climate  
Reality Project  
JAPAN



2023年神奈川県厚木市「あつぎ市民会議」のようす

# あなたの自治体でもやってみよう

## 気候市民会議 Q&Aパンフレット

地域の気候対策グループ  
Local Climate Policy and  
Projects Group



  
CRP JAPAN  
Action Groups

# 気候市民会議とは？

地域における気候変動への理解が深まり、関わった人々の態度を変え、新しい対策やアクションプランが始まることにつながります。

気候市民会議は、市民参加により地域社会の声を取り入れ、気候変動に対処するための包括的な対策や行動計画を議論し、市民の声が反映された政策を策定するために開催します。

地方自治体や研究機関・市民団体などが主催し、一般市民（無作為抽出や公募）が参加し、そこに専門家、地域の関係者（団体、事業者）などが加わります。

参加者は、気候変動の現状や地域の課題を共有し、アイデアを出し合って、地域で行うべき政策を議論し、協力して具体的な行動計画を策定します。

会議には一般市民の参加を促し、アイデアや提案を取りまとめるプロセスや予算が必要です。

市民も参画したアクションプランという気候市民会議の結果が地方自治体の政策に反映されることで、地域社会全体が気候変動に対する取り組みに積極的に参加し、持続可能な社会へ変革していくことにつながります。



神奈川県川崎市「脱炭素かわさき市民会議」のようす

## 気候市民会議 6つのQ&A

- Q1: 誰が主催しますか？
- Q2: 誰が参加しますか？
- Q3: どんなプロセスで行いますか？
- Q4: 話し合った結果はどうしますか？
- Q5: 日本では、いつ、どこで行われていますか？
- Q6: 予算はどれくらい必要ですか？

## 気候市民会議開催のステップ

### 開催準備

- ・ 計画と予算 : 気候市民会議の実施計画と資金調達 (自己資金、協賛金、補助金等)
- ・ 事務局の体制 : 会議実施実務を担うメンバー
- ・ 参加者の確定 : 一般市民、専門家、関係団体など

### 開催

- ・ 会場 : 参加しやすい会場 (リアル、オンライン) で、環境を整える
- ・ 会議の参加者 : 異なるバックグラウンドを持つ一般市民をバランスよく
- ・ 実施内容 : 情報の提供・共有、気候変動対策のアイデア出し、地域社会全体で実践できる具体的なアクションプラン策定

### 開催結果 の反映

- ・ 自治体は行政基本計画に反映したり、実行計画を策定する
- ・ 開催結果をふまえ、自治体と市民などがオープンなやりとりや手順に沿って協働して計画を実行

# Q1

# Q2

## 誰が主催しますか？

- **自治体**

- **市民団体**

- **研究機関**

- **非営利組織**

### 【主催者の事例】

- 札幌市：市民会議さっぽろ(2020年)  
研究者グループ
- 川崎市：脱炭素かわさき市民会議(2021年)  
民間研究機関・地域NPO・学識者
- 武蔵野市：武蔵野市気候市民会議(2022年)  
武蔵野市

「※気候市民会議基本設計整理表(試用版2304)参照」

## 誰が参加しますか？

- 主催者が市民を公募や無作為抽出で選出し、会議へ招待します。
- 参加の意思表示をした人の中から年齢、性別、居住地域など属性が地域全体の縮図となるように抽選し、最終的な参加者を決めます。

(日本での気候市民会議では、無作為抽出ではなく公募などで参加者を選んで行う事例もあります。)

# Q3

## どんなプロセスで行いますか？

1. 気候変動対策について、「食」「交通」「住宅」「消費」などいくつかのトピックを取り上げます。

例えばあつぎ市では「再生可能エネルギーの地産地消」、「移動・まちづくり」、「消費、食農、廃棄」など、札幌市では「脱炭素社会の将来像」「移動と都市づくり、ライフスタイル」などが話し合われました。

2. 専門家からトピックごとの話を聞きます。

議論を行う前にトピックについて情報提供を行い、参加者全員が共通認識を持つことが重要です。



3. 数回にわたって集まりをもち、トピックごとにグループに分かれ、議論を重ねてじっくり話し合います。



4. 提案をしぼることではなく、例えば「推進すべき」から「推進すべきでない」のように各提案ごとに「重みづけ」方式での投票をするなどの方法で、議論した内容を提言にまとめていきます。



# Q4

# Q5

## 話し合った結果は どうしますか？

政策に反映させるよう、自治体に政策提言を行います。

結果を広く公開し、市民の行動変容を促す取り組みも大切です。

気候市民会議の実施にあたっては、最初から政策反映を推進する枠組み等を設けておくことが望ましいです。

事前に提言に対して、どのように政策に反映させるかについて行政と話し合い、いつ返事をもらうかなどフォローアップ計画を作成しておきます。

その後、フォローアップ計画をモニタリングして、提言が政策に取り入れられたかどうか、チェックを定期的に行います。

## 日本では、いつ、どこで 行われていますか？

日本では、最初の気候市民会議が、2020年に札幌市で開催されました。

その後、2021年に神奈川県川崎市、2022年に東京都武蔵野市、江戸川区、埼玉県所沢市などで開催されています。

2023年は神奈川県厚木市、東京都日野市、茨城県筑波市、神奈川県逗子・葉山、横浜市青葉区、宮城県仙台市、千葉県松戸市、埼玉市美園で次々と開催されました。

今後も各地で実施が予定されています。

\* 例えば「脱炭素かわさき市民会議」は(一般社団法人)環境政策対話研究所と川崎市地球温暖化防止活動推進センターの共催で実施。コロナ禍の中、オンライン主体で60数名が最後まで参加し、77の提案にまとめました。引き続き、提案の実現化に向けた取り組みも始まっています。

# Q6

## 予算はどれくらい必要ですか？

市民の無作為抽出にかかる経費、専門家の招へい、参加者への謝金、会場費などある程度の資金が必要になります。予算は、開催のあり方によって千差万別です。下記は、あくまで本格的に開催する場合の予算となります。

地方自治体では気候市民会議への補助金や協賛金を利用できるところもあります。

### 気候市民会議 予算額の内訳(低額案)

予算費目	単価(万円)
市民への参加謝礼	120
講師、実行委員等への謝礼	204
消耗品、印刷費、郵送費	105
委託費※	400
予備費	5
総計	834

※市民の無作為抽出、気候市民会議の運営、会議進行などの実施体制を外部に委託した場合の概算  
会場は市の施設を無料で使用することを想定  
気候市民会議 基本設計整理表(試用版2304)低額案の内訳から作成

ミニ・パブリックスー無作為抽出型の市民会議ー  
気候市民会議の手法は、「ミニ・パブリックス」という世界で行われている市民会議の手法です。

ミニ・パブリックスのポイントは4つあります。

- ①参加者を無作為抽出し、自治体などの縮図となるように集める
- ②全参加者にバランスのとれた情報共有を行う
- ③参加者内でじっくり議論(熟議)を行う
- ④話し合った結果を意見書や提言としてまとめる

### 気候市民会議～私たちが願うこと～

気候変動対策には、できるだけ多くの方に関わってもらうことが重要です。気候市民会議は、自分たちが住む自治体で開催でき、気候変動に関心を持てなかった人も一緒に考えるきっかけとなる方法です。私たちは「気候市民会議」について、CRPリーダーのほか、たくさんの方々に広く知ってもらうためにパンフレットを作成しました。

参考資料は下記  
CRPジャパンホームページ  
をご参照ください。



CRP(クライメート・リアリティ・プロジェクト)は気候変動対策に取り組む世界的なイニシアティブです。地域の気候対策グループは、日本支部であるCRPジャパンの中の活動グループの1つです。



**The Climate  
Reality Project**  
JAPAN

発行・制作 : 2024年8月発行  
CRPジャパン地域の気候対策グループ